

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	保健体育総務一般事務	会計名称	一般会計				担当課	学校教育課			
		予算科目	10 款 6 項 1 目	事業番号	4990			所属長名	齋岡正直		
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名		窪田春樹				
法令根拠等	学校教育法第5条				実施期間	【開始】	平成 17 年度				
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 学校教育環境の整備・充実							【終了】 平成 年度(予定) ■ 設定なし			
総合計画における本事業の役割	確かな学力の定着と向上、心と体を育てる教育の推進に寄与する。										
事業の対象	市内小・中学校			事業の目的	学校保健管理・衛生に関する必要な援助を行い、安全・安心な学校生活に貢献する。						
事業の内容(整備内容)	けが・疾病等の治療及び医務に要する消耗品・医薬材料の支給や、水質検査等を適切に実施し、保健管理・衛生の推進を図る。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	学校運営における健康・衛生の確保は重要であるため、学校と連携して確実な実施を図る。						

事業活動の内容・成果 (D0)

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況（今年度の途中経過）		養護教諭と連携を図り、まずは保健・衛生にかかる物品購入から学校間で均衡の取れた予算配分となるよう、精査を行った。									
事務事業の評価	自己判定（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	学校保健安全法に基づき児童生徒の健康・衛生管理に努めることができた。各校それぞれに養護教諭の考え方や業務への手法が確立されているため、初めに教諭全員から意見を聴取し、全体としてどのように統一していくか、一定の方向性を見出す検討を行った。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 3 社会情勢又は行政管理業務に対応しておらず、見直しが必要である。	4			事業の苦労した点・課題	養護教諭に任せること、市教委で行うことの線引きを明瞭にすることが、次年度以降の課題となつた。		
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 3 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	4						
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 3 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の効果	既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。		
			成果向上の可能性	5 既に十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 4 施策推進への貢献は多大である。 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4			事業の効果	目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。		
			施策への貢献度	5 施策推進に向け、効果を認めることができる。 4 施策推進につながっていない。 3 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	施策への貢献度	施策推進への貢献は多大である。		
		効率性	手段の最適性	5 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 4 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	4			手段の最適性	現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。		
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 3 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	コスト効率	投⼊コスト以上の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。		
			市民（受益者）負担の適正	5 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 4 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 3 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4			市民（受益者）負担の適正	他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。		
	一次判定（所属長）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 児童生徒の健康・衛生管理に必要不可欠な事業であり、引き続き適切に実施しなければならない。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 3 社会情勢又は行政管理業務に対応しておらず、見直しが必要である。	4			事業の方向性	社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。		
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 3 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	5			事業の方向性	社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。		
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 3 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の効果	既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。		
			成果向上の可能性	5 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 4 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。 3 施策推進への貢献は多大である。	3			事業の効果	目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。		
			施策への貢献度	5 施策推進に向け、効果を認めることができる。 4 施策推進につながっていない。 3 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	施策への貢献度	現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。		
		効率性	手段の最適性	5 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 4 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	手段の最適性	最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。		
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 3 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3			コスト効率	投⼊コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。		
			市民（受益者）負担の適正	5 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 4 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 3 他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	市民（受益者）負担の適正	他の事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。		

施 策 を 踏 ま え た 判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	 <p>指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p>
		<input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外 部 評 価	答申の内容
------------	------------------	-------

今後の方針性 (ACTION)

の経 最 終 者 判 会 議	事業の方針性	コメント欄
	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を行う。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を行う。	